

press release: Mio Kaneda | Warmth of intimacy

「色を動かす」 38×45.5(cm) キャンバスに油彩 2024年



親
しさの
温度
金
田
実
生

Mio Kaneda:
Warmth of Intimacy

GALLERY CAPTION



「香りを弾く」 38×45.5(cm) キャンバスに油彩 2024年

— 展覧会概要 —

- 展覧会名: 金田実生 「親しさの温度」 | Mio Kaneda "Warmth of Intimacy"
- 会期: 2024年9月7日(土) - 10月6日(日)
- 開廊時間: 12:00-18:00
- 休廊日: 月火曜日・祝日
- 会場: GALLERY CAPTION (ギャラリーキャプション)
〒500-8813 岐阜市明德町10 杉山ビル1F tel 058-265-2336
- お問い合わせ: 担当/ 山口 (月火曜日、祝日をのぞく 12:00-18:00)
tel 058-265-2336 fax 058-265-5715 caption@mbe.nifty.com
<https://www.gallerycaption.info/>

各位

謹啓 残暑の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてギャラリーキャプションでは9月7日から10月6日まで、「金田実生 “親しさの温度”」を開催いたします。本展は東京都出身の美術作家 金田実生によるもので、当廊では初めての個展となります。

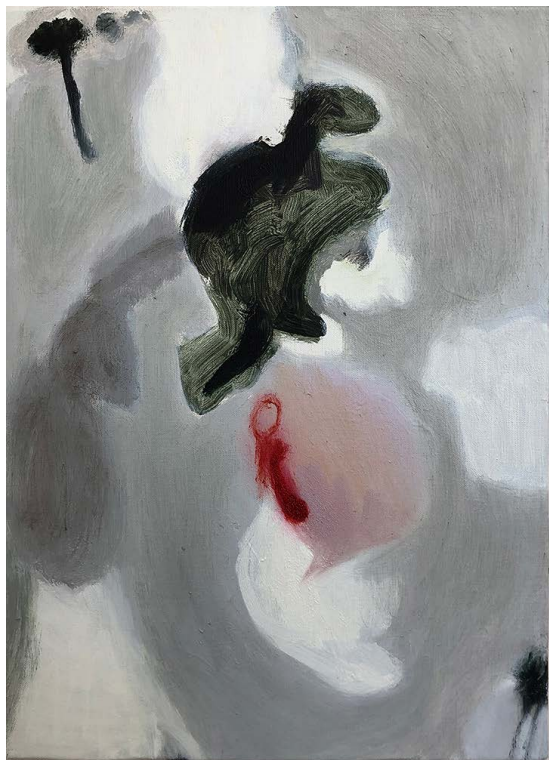
金田実生(1963年東京都生まれ/1988年多摩美術大学大学院美術研究科修了)は、大学でグラフィックデザインを専攻しながら、次第に版画研究室に通い詰めるようになり、作家としてのキャリアを版画からスタートさせました。その後、より直接的な線の表現を求めて、木炭や水溶性クレヨンによるドローイング、礬水(どうさ)引きをした洋紙を支持体とした繊細な油彩による表現、そしてキャンバスへと移行しながら、素材や技法の特性と、自身の表現との可能性を模索し、一貫して平面作品を制作し続けています。近年では「アーティスト・ファイル2009ー現代の作家たち」(国立新美術館、2009年)、「クインテットー五つ星の作家たち」(損保ジャパン東郷青児美術館、2014年)、「みつめる一見ることの不思議と向き合う作家たちー」(群馬県立館林美術館、2019年)など、美術館での主要な展覧会に数多く参加し、高い評価を受けています。

金田は、身のまわりの何気ない出来事や、日々の生活のなかでの自然や生き物とのささやかな交感を、豊かな感性で描き出しています。紙の上を深く伸びるストローク、キャンバスに丹念に塗り重ねられた湿り気のあるおだやかな色合いは、抽象とも具象ともとれるような有機的なイメージを保ちながら、添えられた詩的なタイトルと相まって、見る者のイメージをかきたてます。「描くことは考える行為でもある」という金田は、日ごりの制作のなかで、毎年5月の1ヶ月間、庭のバラとその日の空の様子を毎日描く、日記的な作業を大切にしています。「人の1日は特別でないものごとによって作り上げられている」、ならば「ささやかで身近な存在こそが力の源となりその人を支えているのではないか」。庭先のささやかなうつりかわりを丁寧に受けとめることを通じて、目に見えない気配や空気感、湿度を感じ取り、自らが自然に謙虚に向き合いながら、この世界を見つめるための視力を、そして我々が生きていくための小さな力の存在を問うています。

本展のタイトル「親しさの温度」には、「見る」という行為が、目で見ることだけにとどまらないことが示唆されています。出品される10点余りの作品も「散歩の途中で見つけた風景や、身のまわりの近いものたちを意識して見ながら描いている」という金田の、見ることと肌で感じる感覚とを分けて考えない姿勢や、ものごとに目で触れているかのような感覚が、作品を通じて見る者に伝わる機会となることでしょう。

会期中には是非ご高覧くださいませよう、ご案内申し上げます。

敬具



「大切な鍵」
キャンバスに油彩 33.3×24.2(cm) 2024年



参考作品-「夜と昼のできごと 6」
紙にガッシュ 15.0×19.5(cm) 2020年



「山で笑う」
キャンバスに油彩 45.5×38.0(cm) 2024年

金田実生（かねだみお）

- 1963 東京都に生まれる
- 1986 多摩美術大学美術学部デザイン科グラフィックデザイン専攻卒業
- 1988 多摩美術大学大学院美術研究科修了
- 2005 文化庁新進芸術家国内研修員

【個展】

- 1985 Natural / HBギャラリー（東京）
- 1986 Ordinary People / HBギャラリー（東京）
- 1989 コバヤシ画廊（東京）
- 1997 ものごとの周辺 / ガレリアラセン（東京）
- 1998 そこにしかないもの / ギャラリー山口（東京）
- 1999 個人的なところから / GALERIE SOL（東京）
- 2000 芳香の悦び / GALERIE SOL（東京）
- 2003 時のさかいめ / エキジビション・スペース 東京国際フォーラム（東京）
- 2005 紡ぎゆく日々 / ギャラリー覚（東京）
ギャラリー風（大阪）
- 2007 α Mプロジェクト2006 - 生命の部屋vol.8 / Art Space Kimura（東京）
- 2008 宵の晴れ / MA2ギャラリー（東京）
- 2009 ギャラリー風（大阪）
- 2010 笑って眠る / ギャラリーハシモト（東京）
- 2011 何かに包まれよう / ギャラリー風（大阪）
休息 / ギャラリーハシモト（東京）
- 2013 現のそら言 / ギャラリーハシモト（東京）
- 2014 常温 - ありさま / ギャラリーハシモト（東京）
- 2015 ずれの種子 / ギャラリー風（大阪）
- 2017 日毎の文 / ギャラリーハシモト（東京）
- 2018 公開制作73「金田実生 青空と月」 / 府中市美術館（東京）
水の音が走る夕刻 / ギャラリーハシモト（東京）
- 2019 朝と夜にうたう / Mizuho Oshiroギャラリー（鹿児島）
- 2021 風が吹いてなにかがピリンと鳴った / SHINBI GALLERY（東京）
- 2022 いくつかの一日 / KAZE ART PLUNNING（大阪）
- 2023 つくりかけラボ11 金田実生 | 線の王国 / 千葉市美術館（千葉）
夜の種類 / LOOP HOLE（東京）
- 2024 夜の種類 眠りにつくあいだ / 森岡書店（東京）
その頃、わたしは / RED AND BLUE GALLERY（東京）

【主なグループ展】

- 1991 クラクフ版画トリエンナーレ / クラクフ（ポーランド）
- 1993 第38回CWAJ現代版画展 / 東京アメリカンクラブ（東京）
- 1994 クラクフ版画トリエンナーレ「ジャパニーズ プリントメイキング」 / ギャラリーBWA（ポーランド）
- 1999 TAMA VIVANT '99 ポイエーシス - めくられるとき / 多摩美術大学（東京）
- 2001 チバ・アート・ナウ '01 - 絵画の領域 - / 佐倉市立美術館（千葉）
- 2002 第1回府中ビエンナーレ ダブルリアリティー - 両義的空間とイリュージョンの7人 - / 府中市美術館（東京）
- 2003 美術館ワンダーランド - 自然のなかで - / 豊科近代美術館（長野）
- 2004 大阪・アート・カレイドスコープ「OSAKA04」春・花・生 - 21世紀の芸術と生命の交差 /
大阪府立現代美術センター、海岸通ギャラリー・CASO（大阪）
第23回選抜奨励展 / 損保ジャパン東郷青児美術館（東京）
四月と十月展 / 青山ブックセンター（東京）、ブックセンタークエスト（福岡）
アジア新表現美術交流展 / 台南市立文化中心（台湾）

- 2005 夏の蜃気楼ー自然をうつしだす現代の作家たちー / 群馬県立館林美術館 (群馬)
トライ・アート2006 ハートビートプロジェクト / 富山県立近代美術館 (富山)
- 2006 ART in CASO OSAKA / 海岸通ギャラリーCASO (大阪)
ARTCOCKTAIL 2006 in 笠間 / 大谷石倉庫、笠間日動カーミュージア
- 2007 平成17・18年度文化庁買上優秀作品披露展 / 日本芸術院 (東京)
子どもの目で見ると、てんらんかい / 府中市美術館 (東京)
ヨッチャンの部屋vol.3「現代美術家列伝」 / 大阪造形センター (大阪)
- 2008 TAMA VIVANT II イメージの種子 / 多摩美術大学、みなとみらい駅 (東京、神奈川)
- 2009 光と光が出会うところ 府中市美術館近年の所蔵作品ー現代の美術を中心に / 府中市美術館 (東京)
アーティスト・ファイル2009ー現代の作家たち / 国立新美術館 (東京)
- 2010 つくりかたから見る美術 / 群馬県立館林美術館 (群馬)
- 2012 collection/ selection:03 / GALLERY CAPTION (岐阜)
うすらい / GALLERY CAPTION (岐阜)
雪と氷 / 群馬県立館林美術館 (群馬)
- 2013 第1回 PAT in Kyoto, 京都版画トリエンナーレ 2013 / 京都市美術館
スパーク / 高崎市タワー美術館 (群馬)
- 2014 クインテットー五つ星の作家たち / 損保ジャパン東郷青児美術館 (東京)
夏休み美術館「ガリバーの大冒険」 / 府中市美術館 (東京)
ダイアローグー対話するアート / 群馬県立館林美術館 (群馬)
- 2015 Re-collections!! 文化庁買上優秀美術作品展 / T-Art Gallery (東京)
アート・オブ・ライフー生きることの美学ー / 群馬県立近代美術館 (群馬)
- 2016 金田実生 / 尹熙倉 / GALLERY CAPTION、front (岐阜)
- 2017 Lights and Lines / ギャラリーハシモト (東京)
- 2018 白い赤 / GALLERY CAPTION (岐阜)
collection/ selection: 09 木村彩子 金田実生 + ギャラリーコレクション / GALLERY CAPTION (岐阜)
アート遊覧紀行ー自然と人間をめぐって / 群馬県立館林美術館 (群馬)
- 2019 みつめるー見ることの不思議と向き合う作家たちー / 群馬県立館林美術館 (群馬)
- 2020 envelope as a door vol.5 金田実生 / GALLERY CAPTION online site (岐阜)
メイド・イン・フチュウ 公開制作の20年 / 府中市美術館 (東京)
- 2021 水に浮かぶ島のようにー群馬県立館林美術館の20年 / 群馬県立館林美術館 (群馬)
envelope as a door GALLERY CAPTION 2020 local / ETHICA (岐阜)
特別展「子供のころ」 / 徳島県立近代美術館
- 2022 都美セクション グループ展2022 眼差しに熱がこぼれる / 東京都美術館
暮らしのなかの美術ー5つのテーマから見る府中市美術館コレクション / 府中市美術館 (東京)
- 2023 collection /selection: 12 / GALLERY CAPTION (岐阜)
未生空間ism / 宝塚市立文化芸術センター (兵庫)
境界をこえる / 徳島県立近代美術館 (徳島)
NIGHT PIECES / GALLERY CAPTION (岐阜)
- 2024 collection/ selection: 13 / GALLERY CAPTION (岐阜)
第一回 実験・未生空間イズム / 宝塚市立文化芸術センター (兵庫)
シンフォニー・オブ・アートーイメージと素材の饗宴 / 群馬県立館林美術館 (群馬)
小林耕平/森田浩彰/金田実生展 / CADAN有楽町 (東京)

【パブリックコレクション】

府中市美術館 群馬県立館林美術館 文化庁 広島市現代美術館 徳島県立近代美術館

【出版】

水の音が走る夕刻 (作品集、2023年)

夜の種類 (作品集、2018年)